年　　月　　日

**指　　示　　書**

札幌市立（　　　　　　　　）学校長　様

　　　　（　　　　　　）児童会館長　様

　　　　　　　　　　　　　　看護師　様

　次の者の医療的ケアの実施について、指示内容は下記のとおりです。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 幼児児童生徒氏名・生年月日 | 　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日生 |
| 主たる障がい・疾病名 |  |

（※該当する医療的ケアにチェックを付けるとともに、別紙を記入してください。）

□　経管栄養　　　　　　　　　　［別紙１］

□　喀痰吸引　　　　　　　　　　［別紙２］

□　気管切開部の管理　　　　　　［別紙３］

□　吸入　　　　　　　　　　　　［別紙４］

□　酸素療法　　　　　　　　　　［別紙５］

□　血糖測定・インスリン注射　　［別紙６］

□　人工呼吸器　　　　　　　　　［別紙７］

□　導尿　　　　　　　　　　　　［別紙８］

□　その他　　　　　　　　　　　［別紙９］

医療機関名 ：

　　　　　　　　 主治医 ：

　　　　　　 緊急時の連絡先（℡） ：

［別紙１］

〇医療的ケアの内容（経管栄養）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 |  |
| 注入箇所 | □経鼻胃管　□胃ろう　□腸ろう　□その他（　　　　　　　　　） |
| サイズ　　　Fr | 挿入の長さ　　　　　㎝ |
| 注入内容 | 時間帯 | 内容と量 | （注入速度を踏まえた）注入時間 |
|  |  | 　　　　分～　　　分 |
|  |  | 　　　　分～　　　分 |
|  |  | 　　　　分～　　　分 |
|  |  | 　　　　分～　　　分 |
| 注入後 |  | 白湯（　　　　ml） | 　　　　分～　　　分 |
| 胃残量の確認 | □栄養

|  |  |
| --- | --- |
| 胃内容物の量 | 指示事項 |
| （　　）ml以上（　　）ml未満 |  |
| （　　）ml以上 |  |
| 胃残色に異常がある時 |  |

□水分

|  |  |
| --- | --- |
| 胃内容物の量 | 指示事項 |
| （　　）ml以上（　　）ml未満 |  |
| （　　）ml以上 |  |
| 胃残色に異常がある時 |  |

 |
| 留意点 |  |
| 緊急時の対応 | ＜事故抜去時の対応＞ |

［別紙２］

〇医療的ケアの内容（喀痰吸引）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 |  |
| カテーテルサイズ　　　　Fr | 吸引圧（ 　kPa・　　　mmHg）以下 |
| 実施箇所 | 実施箇所 | 挿入の長さ（ｃｍ） |
| * 口腔
 |  |
| * 鼻腔
 |  |
| * 鼻腔咽頭エアウェイ
 |  |
| * 気管カニューレ
 |  |
| 留意点※特に、吸引の頻度やタイミング（例.SpO2値等）についてコメント願います。 |  |
| 緊急時の対応 |  |

［別紙３］

〇医療的ケアの内容（気管切開部の管理）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容※交換頻度についてコメント願います。 |  |
| カニューレの種類　　　　　　 | サイズ（内径）　　　　　　mm |
| □人工鼻の交換　　　　　□ガーゼ交換　　　　□固定ひも（の確認）□スピーチバルブの使用 |
| 留意点 |  |
| 緊急時の対応 | ＜事故抜去時＞　* 気管カニューレ抜去後（5分以内・30分以内・１時間以内）に、

　　 生命が危険となるおそれあり。* 気管カニューレ抜去後（5分以内・30分以内・１時間以内）に、

　　 再挿入が困難となるおそれあり。＜抜去後の具体的な対応＞ |
| ＜緊急搬送の判断基準＞ |

［別紙４］

〇医療的ケアの内容（吸入）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 |  |
| 吸入内容 | □定時 | 時間 | 　　薬剤名 | 　　流量 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| □随時 | 吸入が必要な体調 |  |
| 留意点 |  |
| 緊急時の対応 |  |

［別紙５］

〇医療的ケアの内容（酸素療法）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 |  |
| 方法 | □経鼻カニューレ　　 　□酸素マスク　 　　□気管カニューレ□人工呼吸器　　　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　）　　 |
| 実施時間 | □常時　　　　 | 流量　　　　　　　リットル／分 |
| □随時 | 流量　　　　　　　リットル／分で開始 |
| 酸素吸入が必要な体調 |  |
| 停止する目安 |  |
| 酸素増量の指示 | ①SpO2値（　　　％）以下の場合、流量（　　　　リットル／分）に増量②SpO2値が改善されない状態が（　　　）分継続した場合、流量（　　　リットル／分）ずつ増量③最大酸素流量（　　　リットル／分）まで増量可能 |
| 留意点 |  |
| 緊急時の対応 |  |

［別紙６］

〇医療的ケアの内容（血糖測定・インスリン注射）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 |  |
| 血糖測定・インスリン注射 | 時間帯 | 血糖値と対応（補食・インスリン注射（※投与量含む）） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 随時測定 | 目安となる体調 |  |
| 血糖値と対応 |  |
| 留意点 |  |
| 緊急時の対応 |  |

［別紙７］

〇医療的ケアの内容（人工呼吸器）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 |  |
| 呼吸器 | 機種 |  |
| 設定 |  |
| 自発呼吸 | □有　　　□無人工呼吸器を外していられる時間（　　　　　　分程度）　 |
| 装着する時間帯 | □常時　　　 | ＜人工呼吸器の脱着＞　　□可　　□不可　　□更衣や移乗（　　　　　　）のみ可 |
| □定時 | ＜装着する時間＞ |
| □体調不良時 | ＜装着が必要な体調＞　SpO2値　　　％以下で　　分継続 |
| □その他 |  |
| 留意点※喀痰吸引のタイミング等に関しては、［別紙２］でコメント願います。 |  |
| 緊急時の対応 | ＜SpO２低下、呼吸困難、機器の故障等の対応＞＜緊急搬送の判断基準＞ |
| * 搬送先　：
* 担当医　：　　　　　科
* ＴＥＬ　：
 |

［別紙８］

〇医療的ケアの内容（　導尿　）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 |  |
| カテーテルの種類　　（　　　　　　　）　サイズ　（　　　　）Ｆｒ尿道に挿入する長さ　（　　　　）ｃｍ　用手圧迫　（　可　・　不可　） |
| 実施時間　（　　：　　）（　　：　　）（　　：　　）（　　：　　）　　　　　（　　：　　）（　　：　　）（　　：　　）（　　：　　） |
| 留意点※特に、注意を要する尿の性状変化や混濁が持続する場合の対応についてコメント願います。 |  |
| 緊急時の対応 |  |

［別紙９］

〇医療的ケアの内容（　　　　　　　　　　　　）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 |  |
| 留意点 |  |
| 緊急時の対応 |  |